

昔語りや伝説と方言



目次

口 絵

刊行のことば

監修のことば

まえがき

凡 例

上田市誌刊行会長 上田市長 母袋創一
東京大学教授 文学博士 佐藤 信

第一章 民俗知識

素朴な生活の知恵としての民俗知識

第一節 予兆

予兆と卜占とのかかわり

一 明日の天気

天気予報

自然現象によるもの

動物によるもの

植物によるもの

二 今年の豊凶

豊作の兆し

凶作の兆し

三 人の運命

病気の兆し

死の兆し

四 夢の知らせ.....7

夢見.....おめでたい夢.....不吉な夢.....縁起担ぎ.....縁起がよい.....縁起が悪い.....火事や変事.....旅立ち前

第二節 占いと呪い.....10

占いと呪い（卜占・呪術）

一 占い.....11

物の動きから.....自然現象や動物などの動き.....人の動き.....占いの呼び名.....コックリさん.....下駄占い

二 呪い.....13

呪いには.....コウデなどの呪い.....菖蒲と蓬で病気や災難除け.....ドンド焼き.....日常生活の中で

六三除け

第三節 禁忌.....17

忌みとは

一 日常生活の禁忌.....17

先人の戒め

二 人の一生と禁忌.....18

祝い事の忌み.....死の禁忌.....女性の禁忌

第四節 民間療法.....20

健康維持に

一 呪い.....21

精神的な安定を

二 神仏に対する信仰.....21

神仏に祈る

三 薬物的な療法

植物からの生薬

(1) 頭部

風邪にドウサン湯 煎じて飲む 首に巻くもの 頭痛に効く

(2) 顔部

歯痛に 耳だれ(耳漏) 目に入ったごみを取る 烏に灸(口角炎) 鼻血が出たら

(3) のど(喉)

せき(咳) 扁桃腺炎 痰に効く

(4) 腹部

胃病 下痢 便秘 痔 回虫などの腹の虫

(5) 皮膚

あかぎれ できもの(腫物) 汗疹 湿疹 漆かぶれ まめ(肉刺) いぼ(疣)

(6) 外傷

火傷 切り傷

(7) その他の症状

腰痛 打ち身(打撲傷) 寝小便(夜尿症) しびれ 蜂さされ 毒蛇に咬まれる とげ(棘)

四 日常生活における療法

肩凝り 喉に魚の小骨 虫封じ ほろろく加持

五 家伝薬

噂の秘薬

六 県外からの薬売り

薬の訪問販売 富山の薬 越後の毒消し

七 物理的療法	38
---------	----

温泉と薬師信仰	按摩	鍼	灸	温泉療法（湯治）
---------	----	---	---	----------

第五節 躰け	41
--------	----

礼儀作法

一 人間形成	41
--------	----

恥ずかしくない人間に

二 行儀作法	42
--------	----

行儀のよい子

三 身仕度（身なり）	42
------------	----

場に応じた身仕度 仕事に責任をもつ

四 信心	43
------	----

家族の願い

五 生業を覚えさせる方法	44
--------------	----

体を通して覚える業 他人の飯を喰う

第二章 口頭伝承

先人たちが残してくれた貴重な宝

一 民間説話と民話	49
-----------	----

(1) 昔話	49
--------	----

(2) 伝説	50
--------	----

(3) 世間話	50
---------	----

一	独鈷山と弘法大師	59
二	伝説のとらえ方	58
二	上田市の昔話	54
(1)	動物昔話	54
(2)	本格昔話	55
(3)	笑い話	57
(4)	形式譚（昔話の最後に語る）	58
二	昔話と伝説の差異	50
(5)	昔話・伝説・世間話の果たした役割	51
二	なぞ・ことわざ	51
(1)	なぞ	51
(2)	ことわざ	51
第一節	昔話	52
一	昔語りの姿	52
(1)	子供のころ聞いた昔話	52
(2)	懐かしい昔話	53
(3)	語りの形式	53
(4)	発端の句は「むかしむかし」	53
(5)	語りの場	53
(6)	中間の句は「とき」「そうだ」	53
(7)	結句は「それつきり」	53
一	むかしむかしあるところに	52

(1)	弘法大師……………	59
	農業信仰の山独鈷山 独鈷山の名の起り	
(2)	小泉小太郎……………	61
	産川と蛇骨石の名の起り	
(3)	教訓的な伝説……………	63
	教訓的な弘法伝説 弘法大師の忘れ物 タイシ信仰から大師信仰へ	
二	西行の戻り橋と別所の湯……………	66
(1)	西行の戻り橋……………	66
	山田峠における子供との問答 西行法師と盗人の違い	
(2)	別所……………	69
	別所は仏教の聖地（霊地） 聖地にやたら入るな	
(3)	円仁慈覚大師……………	71
	結界地別所は円仁慈覚の伝説	
(4)	中野の西行塚ととり（終了）の話……………	72
	塩田平における西行伝説	
(5)	西行伝説を広めたサイギョウ……………	72
	赤岩の西行屋敷 実在の西行と後世の西行 サンギョ、サンギョのかけ声	
三	夫神岳と雨乞い……………	75
(1)	大正十三年の干害……………	75
	岡と漆戸のようす	
(2)	夫神岳（同じ山を青木村では夫神岳、別所温泉では男神岳）……………	76
	夫神岳の雨乞い伝説 おかなが池（御神池）	
(3)	塩田平……………	79

	塩田平の雨乞い伝説	
(4)	千曲川右岸	81
	太郎山・殿城山の雨乞い	
(5)	雨乞いの型	84
	雨乞いの五つの型	
四	一つ目小僧（禁忌伝説）	85
(1)	瀧の宮の片目魚	85
	上田地方の七不思議 瀧の宮の片目魚	
(2)	胡麻を作らない（植物禁忌）	86
	植物禁忌 胡麻を作ってはいけない 胡麻以外の植物禁忌 片目魚と胡麻伝説の共通点	
(3)	片目魚と胡麻伝説に秘められた古代のなぞ	88
	片目の神 なぜ、神主の目を潰すのか 伝説から大昔の考え方を知る	
五	岩鼻の鼠とでえら坊	89
(1)	平を造った鼠と山や窪みを造ったでえら坊	89
	岩鼻の伝説と巨人伝説	
(2)	岩鼻と鼠	89
	鼠がかみ切ってできた岩鼻 蹴裂伝説	
(3)	巨人でえら坊	91
	でえら坊の大きさ 国土創造神話が唐猫やでえら坊に	
六	ため池と吉田堰	93
(1)	甲田池の河童	93
	河童伝説 椀貸し伝説は異郷信仰が根底	
(2)	人柱伝説	95

	ため池にまつわる伝説は少ない	96
(3)	吉田堰	96
	女性が造った堰	
(4)	おいしい水	97
	水は量より質へ	
七	武将	98
(1)	日本武尊の足跡	98
	当地方の日本武尊の足跡	
	日本武尊にまつわる伝説	
(2)	大日堂と坂上田村麻呂	100
	坂上田村麻呂とは	
	坂上田村麻呂の伝説	
(3)	將軍塚(平維茂)と猫石	103
	將軍塚	
	猫石	
	猫石はムラ境	
(4)	源氏	104
	木曾義仲が中心	
(5)	武田信玄と村上義清	106
	武田氏の足跡	
(6)	真田氏	108
	上田城と小松姫	
	時代による武将伝説分布の変化	
八	信濃国分寺と蘇民将来	112
	蘇民将来符	
	国分寺恋しや	
	小太婆さん・平将門伝説	
九	血潮のつつじと怨霊	116
	手で握った糯米が餅に	
	悲恋物語	
	伝説の伝播	

第三節 世間話	119
---------	-----

一 狐	120
-----	-----

狐に化かされた話

二 狸	121
-----	-----

狸に化かされた話

三 山犬	122
------	-----

山犬につけられたら転ぶな

四 力持ち	123
-------	-----

郷土の力持ちに幾つもの話が

第四節 なぞ	126
--------	-----

一 なぞ	126
------	-----

二 なぞの言い方	127
----------	-----

三 なぞを行った時と場所	127
--------------	-----

四 なぞの形式	128
---------	-----

五 なぞのいろいろ	128
-----------	-----

遊び 自然 住まい 生活用具 その他

第五節 ことわざ	133
----------	-----

一 ことわざ	133
--------	-----

二 ことわざのいろいろ	134
-------------	-----

雨の前兆 夕立の前兆 晴れの前兆 雪の前兆 気候にかかわること 食べ物にかかわること

豊作と凶作の前兆	種の蒔き方・苗の作り方	結婚・夫婦関係に関すること	嫁・姑にかかわること
禁忌にかかわること			

第三章 方言

潤いと利便さをもつ豊かな方言	145
----------------	-----

第一節 上田市の方言の特徴	145
---------------	-----

東信方言の中の上田市の方言

一 敬語表現にみられる特徴	145
---------------	-----

敬語表現の中で

二 会話の末尾につく「……ナイ・ナエ」	146
---------------------	-----

第二節 上田市の方言	147
------------	-----

あ行	か行	さ行	た行	な行	は行	ま行	や行	ら行	わ行
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

執筆分担

表紙絵・挿絵

資料提供協力者

(方言調査話者)

あとがき

参考文献

上田市誌の編さん組織

表紙絵 巨人でえら坊と大ねずみ鼠

でえら坊が塩田平で、男神岳を背負い、女神岳を手に持ち山を造っている。一方、劫こうを経た大鼠たちが、田畑を荒してゐる。

裏表紙絵 太郎山

伝説と市民の山として親しんできた太郎山。
(上田城跡公園から太郎山を望む)

上田市誌 民俗編(4)

昔語りや伝説と方言

発行 平成十五年三月一日

編集者 上田市誌編さん委員会

発行者 上田市

上田市誌刊行会

上田市大手一―二―一六

電話 〇二六八―三二―四一〇〇

印刷所 信毎書籍印刷株式会社

長野市西和田四七〇